

照 査 者		設 計 者	
-------------	--	-------------	--

令和 5 年度

山添配水池耐震補強工事

鶴岡市板井川地内
鶴岡市上下水道部
令和5年10月1日以降

設 計 概 要	変 更 概 要
配水池耐震補強工事 一式 配水池内外面防食塗装工事 一式 配水池内、場内配管工事 一式	

本工事費内訳書

工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	直接工事費			式	1			
		山添配水池耐震補強工事費		式	1			第 1号明細表
直接工事費								
	運搬費			式	1			第 2号明細表
積上げ計								
(特殊製品費)								
(特殊製品費)/2								
	共通仮設費率分			式	1			

本工事費内訳書

工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
共通仮設費計								
純工事費計								
	現場管理費計			式	1			
工事原価計								
	一般管理費			式	1			
	契約保証費			式	1			金銭の保証
一般管理費計								
工事価格								
	消費税等相当額			式	1			

本工事費内訳書

工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
工事費計								

第 1号明細表		山添配水池耐震補強工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
耐震補強工事費		式				第 3号明細表	
			1				
補修工事費		式				第 4号明細表	
			1				
合 計		式					
			1				

第 2号明細表		積み上げ運搬費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
仮設材運搬 L=20Km t=15.1ト 深夜・早朝割増なし		式	1			第 1号単価表	
仮設材積み込み・取卸し 積み込み取卸し(往復分)		式	1			第 2号単価表	
合 計		式	1				

第 3号明細表		耐震補強工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
既設構造物等撤去費		式	1			第 5号明細表	
耐震補強費		式	1			第 6号明細表	
合 計		式	1				

第 4号明細表		補修工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
防食塗装工事費		式				第 7号明細表	
			1				
池内場内配管工事費		式				第 8号明細表	
			1				
付帯工事費		式				第 9号明細表	
			1				
仮設工事費		式				第 10号明細表	
			1				
合 計		式					
			1				

第 5号明細表		既設構造物等撤去費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
カッター入れ コンクリート面 厚30mm程度		m	58				
構造物とりこわし工(昼間) 鉄筋構造物・人力施工 制約無		m3	2			第 3号単価表	
人力積込 コンクリート塊		m3	2			第 1号施工P単価表	
人力運搬(運搬～取卸し) 40m以下		m3	2			第 2号施工P単価表	
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間無し 10.9km以下		m3	2			第 3号施工P単価表	
建設廃棄物処理 鶴岡建設(株) コンクリート塊 鉄筋(再資源化処理:解体前)		m3	2				
掘削 土砂 現場制約あり		m3	50			第 4号施工P単価表	
人力積込 土砂		m3	50			第 5号施工P単価表	
人力運搬(運搬～取卸し) 40m以下		m3	50			第 2号施工P単価表	

第 5号明細表		既設構造物等撤去費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 現場制約あり 人力 DID区間無し 4.0km以下		m3	50			第 6号施工P単価表	
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工) 1工事300m2未満		m2	175			第 4号単価表	
合 計		式	1				

第 6号明細表		耐震補強費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 30mm以上200mm未満		孔	36			第 7号施工P単価表	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 30mm以上200mm未満		孔	351			第 7号施工P単価表	
ケミカルアンカーレジンカプセル R-19N 19×153mm ガラス管		本	36				
ケミカルアンカーレジンカプセル R-12N 12×83mm ガラス管		本	351				
アンカー 25mm以下 下方向		本	36			第 8号施工P単価表	
アンカー 25mm以下 下方向		本	351			第 8号施工P単価表	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3≤日打設量<100m3 一般養生 L≤60m 36-12-25 小型割増無		m3	26			第 9号施工P単価表	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	9			第 10号施工P単価表	
鉄筋工(一般構造物(クレーン使用)) 1工事:10t未満 太径鉄筋割合:10%未満 夜間でない 法面作業:無 SD345・D16		t	1.4			第 5号単価表	

第 6号明細表		耐震補強費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鉄筋工(一般構造物(クレーン使用)) 1工事:10t未満 太径鉄筋割合:10%未満 夜間でない 法面作業:無 SD345・D13		t	1			第 6号単価表	
手摺先行型枠組足場設置・撤去工 安全ネット必要 設置高2m以上30m以下		掛m2	82			第 7号単価表	
合 計		式	1				

第 7号明細表		防食塗装工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
頂板塗装費		式				第 11号明細表	
			1				
内面防食塗装費		式				第 12号明細表	
			1				
外壁塗装費		式				第 13号明細表	
			1				
合 計		式					
			1				

第 8号明細表		池内場内配管工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
流入管資材費		式				第 14号明細表	
			1				
連絡管資材費		式				第 15号明細表	
			1				
流出管資材費		式				第 16号明細表	
			1				
越流排水管資材費		式				第 17号明細表	
			1				
流入管配管工事費		式				第 18号明細表	
			1				
連絡管・流出管配管工事費		式				第 19号明細表	
			1				
越流配水管配管工事費		式				第 20号明細表	
			1				
既設管撤去費		式				第 21号明細表	
			1				
土木工事費		式				第 22号明細表	
			1				

第 8号明細表

池内場内配管工事費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容				
名称・規格		単位	数量	単価	金額	摘要
合計		式	1			

第 9号明細表

付帯工事費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容			
名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
壁貫通口費	式	1			第 23号明細表
合 計	式	1			

第 10号明細表		仮設工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
仮設工費		式	1			第 24号明細表	
合 計		式	1				

第 11号明細表

頂板塗装費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容			
名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下地処理 ケレン・清掃	m2				
		182			
下地調整材 ポリマーセメントペースト	m2				
		182			
頂版防水工法 歩行用保護仕上げ	m2				
		182			
合 計	式				
		1			

第 12号明細表		内面防食塗装費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工) 1工事300m2以上500m2未満		m2	371			第 8号単価表	
人力積込 コンクリート塊		m3	28			第 1号施工P単価表	
人力運搬(運搬～取卸し) 40m以下		m3	28			第 2号施工P単価表	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間無し 10.9km以下		m3	28			第 11号施工P単価表	
建設廃棄物処理 鶴岡建設(株) コンクリート塊 無筋(再資源化处理:解体前)		m3	28				
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3≦日打設量<100m3 一般養生 L≦60m 36-12-25 小型割増無		m3	28			第 9号施工P単価表	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	371			第 10号施工P単価表	
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工) 1工事300m2未満 上向き施工 夜間		m2	199			第 9号単価表	
下地処理 ケレン・清掃		m2	199				

第 12号明細表		内面防食塗装費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
上水道コンクリート防食工 JWWA K 143 (2007) 適合 材工共 側面		m2	212				
上水道コンクリート防食工 JWWA K 143 (2007) 適合 材工共 底盤		m2	159				
上水道コンクリート防食工 JWWA K 143 (2007) 適合 材工共 頂板		m2	199				
手摺先行型枠組足場設置・撤去工 安全ネット必要 設置高2m以上30m以下		掛m2	237			第 7号単価表	
パイポット支保工(支保耐力 $f \leq 40\text{kN/m}^2$) コンクリート厚 $t \leq 120\text{cm}$ (参考)		空m3	548			第 10号単価表	
合 計		式	1				

第 13号明細表		外壁塗装費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
外壁モルタル塗り撤去 全面		m2	91				
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工) 1工事300m2未満		m2	91				第 4号単価表
下地処理 ケレン・清掃		m2	91				
下地調整材 ポリマーセメントペースト		m2	91				
外壁防水工法 水性反応硬化型 アクリル樹脂		m2	91				
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間無し 10.9km以下		m3	3				第 11号施工P単価表
建設廃棄物処理 鶴岡建設(株) コンクリート塊 無筋(再資源化処理:解体前)		m3	3				
合 計		式	1				

第 14号明細表		流入管資材費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
NCPラップ管 150A×106L JWWA 7.5K RF		個	1				
NCPスティフナー付2F曲管 150A×1150L×235L×90° JWWA 7.5K RF		個	1				
DIP-GX 伸縮可とう管 φ150 F×UG 離脱防止性能A級 偏芯量200mm 7.5K RF		基	1				
ダクタイトル铸铁管 内面エポキシ GX形 S種 外面標準 径150mm×長5m 136kg		本	1				
ダクタイトル铸铁异形管 GX形 継ぎ輪 呼び径150mm		個	1				
ダクタイトル铸铁异形管 接合材料 异形管・ソフトシール弁用 呼び径150mm		個	1				
ダクタイトル铸铁异形管 切管ユニット G-Linkセット 呼び径150mm		個	2				
フランジ接合品 φ150 SUS304 RF		組	1				
フランジ接合品 φ150 SUS304 RF 絶縁		組	1				

第 14号明細表

流入管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容				
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
フランジ固定金具 φ150		組	1			
水道管用管明示シート 150mm ダブル		m	2.2			
合 計		式	1			

第 15号明細表

連絡管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 ¥	内容					
	名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	NCPラップ管 200A×125L JWWA 7.5K	個	1			
	手動式開閉器付二床式ソフトシール弁 φ200×7.5K 内ねじ 中間ロッド (SUS304) L=2710	組	1			
	NCPスティフナー付き1F直管 200A×1050L JWWA 7.5K	個	1			
	DIP-GX 伸縮可とう管 φ200 F×UG 離脱防止性能A級 偏芯量200mm 7.5K RF	基	1			
	ダクタイトル鉄異形管 GX形 継ぎ輪 呼び径200mm	個	1			
	ダクタイトル鉄異形管 接合材料 異形管・ソフトシール弁用 呼び径200mm	個	1			
	ダクタイトル鉄異形管 切管ユニット G-Linkセット 呼び径200mm	個	2			
	フランジ接合品 φ200 SUS304 RF 絶縁	組	3			
	フランジ固定金具 φ200	組	1			

第 15号明細表

連絡管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容			
名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水道管用管明示シート 150mm ダブル	m	2.2			
合 計	式	1			

第 16号明細表

流出管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 ¥	内容					
	名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	NCPラップ管 200A×125L JWWA 7.5K	個	1			
	手動式開閉器付二床式ソフトシール弁 φ200×7.5K 内ねじ 中間ロッド(SUS304) L=3200	組	1			
	NCPスティフナー付2F曲管 200A×1050L×200L×22.5° JWWA 7.5K RF	個	1			
	DIP-GX 伸縮可とう管 φ200 F×UG 離脱防止性能A級 偏芯量200mm 7.5K RF	基	1			
	ダクタイトル铸铁管 内面エポキシ GX形 S種 外面標準 径200mm×長5m 179kg	本	2			
	ダクタイトル铸铁异形管 GX形 曲管 90°×呼び径200mm	個	1			
	ダクタイトル铸铁异形管 GX形 曲管 45°×呼び径200mm	個	2			
	ダクタイトル铸铁异形管 GX形 曲管 22°1/2×呼び径200mm	個	2			
	ダクタイトル铸铁异形管 GX形 両受曲管 45°×呼び径200mm	個	2			

第 16号明細表

流出管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 ¥	内容					
	名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	ダクタイトル鋳鉄異形管 GX形 両受曲管 22° 1/2×呼び径200mm	個	1			
	ダクタイトル鋳鉄異形管 GX形 継ぎ輪 呼び径200mm	個	1			
	ダクタイトル鋳鉄異形管 接合材料 異形管・ソフトシール弁用 呼び径200mm	個	4			
	ダクタイトル鋳鉄異形管 接合材料 ライナ 呼び径200mm ライナボード含む	個	2			
	ダクタイトル鋳鉄異形管 切管ユニット G-L i n kセット 呼び径200mm	個	10			
	不断水分岐用耐震型割T字管 φ200×φ200 ソフトシール仕切弁付メカ挿し口付	基	1			
	不断水工法用ソフトシール弁 φ200 耐震型 DIP用	基	1			
	フランジ接合品 φ200 SUS304 RF 絶縁	組	3			
	フランジ固定金具 φ200	組	1			

第 16号明細表

流出管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容				
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
メカ管帽 φ200		組				
			1			
弁筐 D P 1.9用		組				
			2			
水道管用管明示シート 150mm ダブル		m				
			13.6			
合 計		式				
			1			

第 17号明細表		越流排水管資材費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ￥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
NCPラップ管 100A×90L JWWA 7.5K		個	2				
手動式開閉器付二床式ソフトシール弁 φ100×7.5K 内ねじ 中間ロッド (SUS304) L=3515		組	1				
NCP3FT字管 100A×100A 320L×150L JWWA 7.5K RF		個	1				
NCP2F直管 100A×3350L JWWA 7.5K RF		個	1				
NCPスティフナー付2F直管 100A×950L JWWA 7.5K RF		個	1				
DIP-GX 伸縮可とう管 φ100 F×UG 離脱防止性能A級 偏芯量200mm 7.5K RF		基	1				
ダクティル铸铁管 内面エポキシ GX形 S種 外面標準 径100mm×長5m 71.9kg		本	1				
ダクティル铸铁异形管 GX形 継ぎ輪 呼び径100mm		個	1				
ダクティル铸铁异形管 接合材料 异形管・ソフトシール弁用 呼び径100mm		個	1				

第 17号明細表

越流排水管資材費

1.0式 当り

明 細 表

金額 ¥	名 称 ・ 規 格	内 容				
		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	ダクタイトル鋳鉄異形管 切管ユニット G-L i n kセット 呼び径100mm	個	2			
	フランジ接合品 φ100 S U S 304 R F	組	3			
	フランジ接合品 φ100 S U S 304 R F 絶縁	組	3			
	フランジ固定金具 φ100	組	2			
	水道管用管明示シート 150mm ダブル	m	2.1			
	合 計	式	1			

第 18号明細表		流入管配管工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鋼管布設工・吊込み据付(人力) 150mm		m	1.5			第 11号単価表	
鋳鉄管布設工・吊込み据付(機械力) 150mm		m	2.2			第 12号単価表	
伸縮可とう管設置(鋳鉄製) 150mm F×U		基	1			第 13号単価表	
GX形継手接合 異形管150mm		口	1			第 14号単価表	
GX形継手接合 G-Link150mm		口	2			第 15号単価表	
フランジ継手(7.5K) 150mm		口	2			第 16号単価表	
ポリエチレンスリーブ被覆工 150mm		m	2.2			第 17号単価表	
管明示シート工		m	2.2			第 18号単価表	
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) 150mm		口	1			第 19号単価表	

第 18号明細表

流入管配管工事費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容				
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計		式	1			

第 19号明細表		連絡管・流出管配管工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鋼管布設工・吊込み据付(人力) 200mm		m	3.2			第 20号単価表	
鋳鉄管布設工・吊込み据付(機械力) 200mm		m	15.8			第 21号単価表	
仕切弁・バタフライ弁設置工(人力、縦・横型) 200mm		基	2			第 22号単価表	
伸縮可とう管設置(鋳鉄製) 200mm F×U		基	2			第 23号単価表	
GX形継手接合 直管200mm		口	2			第 24号単価表	
GX形継手接合 異形管200mm		口	5			第 25号単価表	
GX形継手接合 G-Link200mm		口	12			第 26号単価表	
フランジ継手(7.5K) 200mm		口	6			第 27号単価表	
不断水連絡 φ200×φ200		箇所	1			第 28号単価表	

第 19号明細表

連絡管・流出管配管工事費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容			
名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不断水仕切弁設置工 φ200 耐震型 DIP用	基	1			
ポリエチレンスリーブ被覆工 200mm	m	15.8			第 29号単価表
管明示シート工	m	15.8			第 18号単価表
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) 200mm	口	7			第 30号単価表
合 計	式	1			

第 20号明細表		越流配水管配管工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
鋼管布設工・吊込み据付(人力) 100mm		m	5.2			第 31号単価表	
鋳鉄管布設工・吊込み据付(機械力) 100mm		m	2.1			第 32号単価表	
仕切弁・バタフライ弁設置工(人力、縦・横型) 100mm		基	1			第 33号単価表	
伸縮可とう管設置(鋳鉄製) 100mm以下 F×U		基	1			第 34号単価表	
GX形継手接合 異形管100mm		口	1			第 35号単価表	
GX形継手接合 G-Link100mm		口	2			第 36号単価表	
フランジ継手(7.5K) 100mm		口	6			第 37号単価表	
ポリエチレンスリーブ被覆工 100mm		m	2.1			第 38号単価表	
管明示シート工		m	2.1			第 18号単価表	

第 20号明細表

越流配水管配管工事費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容			
名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) 100mm	口	1			第 39号単価表
合 計	式	1			

第 21号明細表		既設管撤去費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ダクタイル鋳鉄管(撤去管)切断工(エンジンカッター) 100mm		口				第 40号単価表	
			2				
ダクタイル鋳鉄管(撤去管)切断工(エンジンカッター) 150mm		口				第 41号単価表	
			2				
ダクタイル鋳鉄管(撤去管)切断工(エンジンカッター) 200mm		口				第 42号単価表	
			4				
撤去管(鋳鉄管)吊上げ積込み(機械力) 100mm		m				第 43号単価表	
			2.1				
撤去管(鋳鉄管)吊上げ積込み(機械力) 150mm		m				第 44号単価表	
			2.2				
撤去管(鋳鉄管)吊上げ積込み(機械力) 200mm		m				第 45号単価表	
			3.7				
撤去管(鋼管)吊上げ積込み(人 力) 100mm		m				第 46号単価表	
			5.2				
撤去管(鋼管)吊上げ積込み(人 力) 150mm		m				第 47号単価表	
			1.5				
撤去管(鋼管)吊上げ積込み(人 力) 200mm		m				第 48号単価表	
			3				

第 21号明細表

既設管撤去費

1.0式 当り

明 細 表

金額 円		内容				
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仕切弁・ハタライ弁撤去工(人力、縦・横型) 100mm		基				第 49号単価表
			1			
仕切弁・ハタライ弁撤去工(人力、縦・横型) 200mm		基				第 50号単価表
			2			
合 計		式				
			1			

第 22号明細表		土木工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
管路掘削工 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		m3	51			第 51号単価表	
発生土運搬費 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)+DP4t DID区間なし 4.5km以下 土砂		m3	12			第 52号単価表	
管路埋戻(機械埋戻) 丘砂 山積0.28m3(平積0.20m3)+タンパ		m3	12			第 53号単価表	
管路埋戻(機械埋戻) 発生土 バックホウ山積0.28m3(平積0.20m3)+タンパ		m3	39			第 54号単価表	
軽量鋼矢板建込工(両側分) 掘削深2.0m以下 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		m	2			第 55号単価表	
軽量鋼矢板建込工(両側分) 掘削深2.5m以下 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		m	15			第 56号単価表	
軽量鋼矢板建込工(両側分) 掘削深3.0m以下 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		m	5			第 57号単価表	
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 掘削深2.0m以下 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		m	2			第 58号単価表	
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 掘削深2.5m以下 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		m	15			第 59号単価表	

第 22号明細表		土木工事費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 掘削深3.0m以下 バックホ山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		m	5			第 60号単価表	
支保材設置・撤去工(軽量+水圧) 手間のみ 1段 2.0m以下		m	2			第 61号単価表	
支保材設置・撤去工(軽量+水圧) 手間のみ 2段 3.5m以下		m	20			第 62号単価表	
軽量鋼矢板賃料 11日		t	4.1			第 63号単価表	
支保工賃料 11日		t	0.6			第 25号明細表	
合 計		式	1				

第 23号明細表		壁貫通口費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 ¥		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
手はつり (ダクト貫通口) 鉄筋コンクリート コンクリート厚400mm程度 コンクリート貫通面積: 0.5m2		箇所	4			第 64号単価表	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 10m3≦日打設量<100m3 一般養生 L≦60m 30-12-25 小型割増無		m3	0.6			第 12号施工P単価表	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	4			第 10号施工P単価表	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間無し 10.9km以下		m3	0.7			第 11号施工P単価表	
建設廃棄物処理 鶴岡建設(株) コンクリート塊 無筋(再資源化处理:解体前)		m3	0.7				
鉄筋工(一般構造物(クレーン使用)) 1工事:10t未満 太径鉄筋割合:10%未満 夜間でない 法面作業:無 SD345・D13		t	0.01			第 6号単価表	
鉄筋工(ガス圧接工) 1工事100箇所未満 D19xD19mm 夜間でない		箇所	8			第 65号単価表	
合 計		式	1				

第 24号明細表		仮設工費		1.0式 当り		明 細 表	
金額 円		内容					
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
敷鉄板設置工		m2				第 66号単価表	
			60				
敷鉄板撤去工		m2				第 67号単価表	
			60				
敷鉄板(鋼板・厚22) 賃料 1524×3048 1～90日		枚・日					
			1,170				
敷鉄板(鋼板・厚22) 整備費 1524×3048		枚					
			13				
既設フェンス取り外し 再利用		m					
			37				
既設フェンス再設置		m					
			37				
合 計		式					
			1				

第 25号明細表

支保工賃料

1.0 t 当り

明 細 表

金額 円		内容11日				
名 称 ・ 規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
アルミ腹起こし 賃料 110～120mm 120～130mm 2000mm		本日	198			
アルミ腹起こし 基本料 110～120mm 120～130mm 2000mm		本	18			
水圧ホース アルミ製 賃料 770～1300mm		本日	198			
水圧手動ポンプ 賃料 タンク水量15～19リットル		台日	11			
水圧ホース アルミ製 基本料 770～1300mm		本	18			
水圧手動ポンプ 基本料 タンク水量15～19リットル		台	1			
合 計		t	1			
単 位 当 り		t	1			

令和5年度

山添配水池耐震補強工事

一 般 仕 様 書

鶴岡市上下水道部 水道課

1.土木工事

1. 仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「日本水道協会制定水道工事標準仕様書-土木工事編-（最新版）」、及び「山形県県土整備部制定共通仕様書（最新版）」に基づき実施しなければならない。

なお、工事期間中において、仕様書の一部改訂がなされた場合は改訂内容についても適用するものとする。

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総 則

1 - 1. 工事種別

工事種別は土木一式工事とする。

※経費の積算にあたっては、水道事業実務必携の構造物工事（浄水場等）を基に積算をしています。

1 - 2. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取り扱い

1. 本工事において、建設業法第26条3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

1 - 3. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もある。

1 - 4. 施工計画

事前に現地調査等を行い、設計図書と差異があった場合は工事打合簿に計画図（平面図・断面図・詳細図等）を添付し、監督職員に提出し承諾を得ること。

なお、施工中に疑義が生じた場合はすみやかに監督職員に連絡し指示をあおぐこと。

1-5. 排出ガス対策型の建設機械

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械の使用が出来ない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。

なお、対策型を使用しない場合は変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

1-6. 揚重作業機械

揚重作業機械については、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。

やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

~~1-7. 沿線住民への周知~~

~~工事着工前に施工箇所を示した住宅地図を添付した「工事のお知らせ」を作成し、監督職員の承諾を得てから地元の町内会長、沿線住民等の関係各所に配布すること。~~

~~また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関（幼稚園、保育園等）に通知すること。~~

1-8. 地下埋設物

~~すべての埋設物（下水道、電力、N T T、ガス及び情報管路等その他必要と思われる埋設物）について管理者に埋設状況の確認を行い、必要に応じて管理者との立会いを実施し、確認書の写しを監督職員に提出すること。~~

~~なお、N T Tに関しては必ず管理者の立会いを求めること。~~

~~また、試掘が必要な場合は事前に監督職員と協議しなければならない。~~

1-9. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれの条件を満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出先は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、マニフェスト（E票）の写しを提出すること。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00~17:00
	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00~17:00
○	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00~17:00
	鶴岡市馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00~17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00~17:00

3. 受注者は、自らの都合により前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第 1 篇共通編 1-1-12 建設副産物第 2 項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。
 なお、この場合において搬出予定の再資源化施設が第 1 項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。
 また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
4. 受注者は、建設リサイクル法第 18 条第 1 項の規定により、特定建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設副産物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、工事完了時に「再生資源利用計画書（実施書）」及び、「再生資源利用促進計画書（実施書）」の内容について、監督職員が別途指定する様式、データで提出すること。
 また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
6. 受注者は、再生資源利用計画書及び、再生資源利用促進計画書の内容について『建設副産物情報交換システム-COBRIS-』（（財）日本建設情報総合センターWeb 版入力システム）に登録する場合は事前に監督職員と協議すること。
7. 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車輛に「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

1 - 10. 残土受入地

本工事により発生する建設発生土は 4.5k m 以内の運搬を想定しており、運搬・処理については受注者の責任において適正に行わなければならない。

建設発生土受入地については、発注者及び受注者の協議により確保するものとし、設計計上した運搬距離と差異が生じた場合は変更協議の対象とする。

建設発生土受入地を決定した際は、速やかに建設発生土受入同意書、運搬経路と距離を記載した位置図を提出すること。

建設発生土処分状況を確認するため、監督職員の指示があった場合は搬出先における受入前、受入中（抜粋で可）、受入れ後の状況写真を提出すること。なお、建設発生土処分先が複数ある場合は、それぞれの処理状況を添付すること。

1 - 11. 工事名表示板に関する事項（安全確保関係）

工事名表示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。

なお、工事名看板記載の「工事期間」は現場施工期間とする。

また、発注者は「鶴岡市上下水道部 水道課」とする。

工事の種類	(例) 水道工事
工事内容の説明	(例) 配水池の耐震補強のための工事を行っています。

1 - 12. 交通安全に関する事項

現場状況を精査し、必要に応じて歩行者、自転車及び車輛等通行の際の安全確保のために交通誘導員を配置させ、安全管理に十分配慮した施工計画を策定すること。

また、詳細については監督職員と協議しなければならない。

1 - 13. 事業損失に関する事項

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要となった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

1 - 14. 施工時期、時間、施工方法の制限事項

本工事の作業時間帯は 8:30～17:00 とする。

なお、作業時間には準備、後片付け及び重機の移動時間も含むものとする。

また、作業時間帯に変更が生じる場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

1 - 15. 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

- I 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
- II 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。
- III 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- IV 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1 - 16. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第 1 報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（山形県、参考様式 5）を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に係る「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わずすべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ→組織別ページ→県土整備部→建設企画課→建設工事技術関連情

1-17. 配管技能者等の配置について

1. 配水管技能者（~~一般継手または耐震継手登録~~）を配置すること。
- ~~2. 職業能力開発促進法第44条に規定する配管技能士及び同法24条に規定する都道府県知事の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程の修了者、公益財団法人給水工~~
~~技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程を修了した者等、当市で~~
~~定める技能を有するものを配置すること。~~

1-18. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、速やかに監督員に連絡し指示を仰ぐこと。
了解を得ずに増工（増額）したものについては変更の対象としない。
2. 建設業退職金共済組合に加入している場合は、「建設業退職金共済組合証紙購入報告」を提出すること。その他の退職金共済に加盟している場合は、加盟している退職金共済を確認できる書類を提出すること。
なお、当該工事期間中に建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況について確認できる書類を提出すること。

第2編 材 料 編

第1章 土木工事材料

~~1-1. 再生資材の使用~~

~~工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。~~

材料名	規格	使用箇所	摘要

- ~~1. 再生クラッシュランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破砕、選別、混合物除去、粒度調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の砕石又はズリ等）が混合されていない状態のものをいう。~~
- ~~2. 路盤材に使用する再生砕石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。~~
~~→路盤材 修正 CBR 値 40%以上~~

1 - 2. 購入土

購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

1 - 3. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

資材名	規格	調達地域等
土砂	丘砂（砂丘砂）	庄内

第2章 一般事項

2 - 1. 使用資材

JWWA 製品及び当課で承認した資材を使用することとするが、これによらない場合は監督職員の承諾を得てから使用すること。

2 - 2. 資材の発注

資材の発注については、現地調査、等を必ず行い、必要資材を確認したうえで行うこと。なお、不要資材が発生した際の返却に係る手数料等については原則受注者負担とする。

2 - 3. 工事材料の確認

市が一括承認済みの骨材等については、承認資料等の提出を省略できる。なお、使用材料は、納入された時に必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は返却等の処置を施すこと。確認時に不良品を発見した場合、手直し指示する場合がある。

2 - 4. 資材の保管

使用資材は平坦な場所に敷いた緩衝材の上に保管することとし、直射日光や雨等を避けるためにシート等で覆い品質を確保すること。また、強風等で飛散することのないよう処置を施すこと。

2 - 5. 発生資材の管理

工事で発生した切管等の資材や仮設資材については工事完了後、速やかに監督職員に数量を書面により報告し、監督職員指定の場所へ運搬すること。

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

~~1-1. 段階確認~~

~~共通仕様書第3篇土木工事共通編 1-1-2 監督職員による確認及び立会等により指定された工種に次の工種を追加するものとする。~~

種別	細別	確認時期

第2章 一般施工

2-1. 埋戻し時の転圧等について

1. 埋戻し材（砂）は20cm毎に十分ランマー等で転圧し、管理すること。
- ~~2. 下層路盤の1層仕上がり厚は20cm以下、上層路盤の1層仕上がり厚は15cm以下で施工し、管理すること。~~

第4編 コンクリート工事編

第1章 一般施工

1-1. 適用

土木工事共通仕様書及びコンクリート標準仕様書を適用するものとする。

1-2. 型枠工事

1. 型枠材料は原則として鋼製とする。なお、合板を使用する場合は『コンクリート型枠用合板農林規格』の1種とする。
2. 側壁等立上り部のセパレータは、防水ゴム付とする。
3. 型枠緊張材は、ボルト式とする。

1-3. 鉄筋工事

1. 使用材料

鉄筋は、JIS G 3112 に規定されている SD345 を使用すること。

2. 被り厚及び配筋方法（補強筋含む）

図面に明記なき場合は、土木工事共通仕様書及びコンクリート標準仕様書に準ずること。

3. スペーサー

使用するスペーサーは、原則として鉄製（一部ポリ紛体被覆品）とし、モルタルスペーサーを使用する場合は設計強度以上の材質として監督職員の承認を得ること。

1-4. コンクリート工事

1. コンクリートは、原則としてレディーミクストコンクリート（JIS A 5308）を使用するものとしその使用は図面に明記しているものとする。

2. 試験

配合については試験練りを行い、監督職員の承認を受けてこれを定めるものとする。

圧縮強度試験の供試体は、打設工程 1 回につき下記の採取本数とする。

- ・ 工事現場の荷卸場所 1 週養生～3 本、4 週養生～3 本

3. 打設方法

コンクリートは棒状バイブレーターを使用して十分締固め、表面は少し乾いたときにタンピング仕上とする。側壁等の立ち上がりコンクリートは水平打ちとし、棒状バイブレーターを使用して、鉄筋・型枠の隅々までコンクリートが行き渡るように十分締固め、表面は少し乾いたときにタンピング仕上とする。コンクリート打設工程ごとの打継目の処理は、コンクリート打設から 3～5 時間後、ワイヤーブラシ等でレイタンスを除去するものとし、その厚さは粗骨材の表面が表れるまでとする。コンクリートの塩化物測定は打設回数ごとに行い、その記録をまとめておくこと。

第 5 編 明示事項

第 1 章 施工及び管理

1-1. 管の布設及び接合

1. ダクタイトル鑄鉄管の施工は、日本ダクタイトル鑄鉄管協会発刊の接合要領によること。

~~2. 水道配水用ポリエチレン管の施工は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会発刊の施工マニュアルによること。~~

3. 接合はすべての箇所においてチェックシートを用いて管理を行うこと。

4. ダクタイトル鑄鉄管及び水道配水用ポリエチレン管の接合について、管種、継手種類ごとに監督職員の立会を受けること。

~~5. 給水管の施工は（財）給水工事技術振興財団発行の給水装置工事の手引き及び使用資材メ~~

~~一カー等で定める施工手順、技術資料により施工すること。~~

~~また、ポリエチレン管耐震継手については必ずメーカー指定の締付けトルクで接続するとともに、チェックシートを用いて管理を行うこと。~~

1-2. チェックシートの提出

チェックシートについてはすべての接合箇所（給水管用ポリエチレン管耐震継手含む。）を提出すること。【接合状況写真との整合性がとれるようにすること。】

1-3. 写真撮影及び提出

施工状況写真は原則 20m に 1 箇所、接合状況は全箇所の撮影とし、紙及び電子媒体にて提出すること。完成写真は施工前後で施工箇所がわかるようにすること。

なお、提出部数については監督職員の指示する部数とすること。

1-4. 切管管理

切管調書による残管延長の管理を行い、資材の無駄が生じないようにすること。

1-5. 管の切断

1. ダクタイル鋳鉄管の切断は、ダイヤモンドブレード若しくはキールカッターを使用し切断すること。

~~2. 配水用ポリエチレン管の切断は、所定のパイプカッターを使用し切断すること。~~

1-6. 埋設シート及びテープ

1. 管明示シートは下層路盤と埋め戻し砂の境界に埋設すること。

2. 管明示テープの施工は、以下のとおりとする。

I ダクタイル鋳鉄管はポリエチレンスリーブの固定材として使用すること。

~~II 配水用ポリエチレン管、硬質塩化ビニル管は管上に貼付し、管長 5m につき、4 箇所胴巻き貼付すること。~~

1-8. 竣工図書

1. 工事竣工図作成要領について

I 竣工図は平面図、配管詳細図及び監督職員が指定するものとする。

II 平面図には配管図を記入し、直管布設部においては官民境界からの離れ及び埋設深を、曲管等の異形管布設部についてはオフセットを表示すること。

また、給水管工事を伴った場合は、止水栓または逆止弁付止水栓までを表記し、併せて水栓番号も記入すること。当該施工箇所は赤色にて表示すること。

なお、縮尺は 1/500 または 1/1,000 とし、図面上に表示すること。

III 配管詳細図には工事設計図面同様の配管記号により平面的に記入するものとし、各種異形管等についてはト書きにて口径、種別を表記すること。また、切管には寸法をメートル単位（小数点第 1 位まで）で明示すること。なお、平面的な表記では理解しがたい場合は側面図等で補うこと。

- IV 消火栓設置時はメーカー、サイズ、副弁、消火栓バルブ及び丙管の有無を配管詳細図に記載すること。
 - V 空気弁設置時はメーカー、補修弁の有無、取り出し口径を配管詳細図に記載すること。
 - VI 本工事施工に際して確認できた他埋設管（ガス、下水道等）があった場合は、その埋設位置を平面図に記載すること。
2. オフセット図について
- 仕切弁及び異形管のオフセットを監督職員の指定する様式にて提出することとし、積雪時にも発見しやすい目標物からの3点計測とすること。既設管との接続箇所についても、発見しやすい目標物からの3点計測とすること。
- なお、仕切弁オフセットについては一つの仕切弁につき一枚作成することとし、当該仕切弁周辺の配管や仕切弁も記載すること。また、オフセット図裏面に該当仕切弁の位置がわかりやすいよう写真を掲載すること。ドレン用仕切弁（止水栓）についてはドレン口径及び放流先（側溝、水路等）が分かるように図示すること。
- ~~3. 給水台帳及び給水管分岐替一覧表について~~
- ~~給水管工事を行った場合は給水台帳の修正を行い、給水管分岐替一覧表を作成すること。~~
4. 竣工図書の提出について
- I 工事竣工図、仕切弁オフセットの提出は紙媒体と電子媒体によるものとし、提出方法は次のとおりとする。
 - ・紙媒体・・・監督職員の指定する部数。
 - ・電子媒体（PDF）・・・1式
 - ~~II 給水台帳及び給水管分岐替一覧表については紙媒体により1部提出すること。~~

第2章 その他

2-1. 環境整備

路面及び側溝等に土砂や作業排水を排出した場合は、作業終了後に清掃を行うこと。

2-2. 家屋調査等について

工事箇所周辺において工事施工により破損の恐れがある家屋、ブロック塀及び石積等がある場合は、工事施工前に当該物件所有者立会いの下に家屋調査を行い現況の確認を行い、工事完成後には所有者より異常の有無を確認していただくこと。

なお、現況確認、異常の有無確認ともに、確認状況がわかる写真を添付した調査調書を作成し、所有者からの署名、押印をいただいたうえで提出すること。

また、異常があった場合は速やかに監督職員へ報告し、対応を協議すること。

2.塗装工事

1.仕様書の適用

本工事の施工にあたっては下記の規格を適用すること。

日本工業規格（JIS）

日本水道協会規格（JWWA）

なお、上記規格基準に制定なきものは監督職員と協議すること。

第1編 施 工 編

第1章 工 事 材 料

1-1. 塗膜防水工の材質について

塗膜防水の材質、塗厚、層数及び仕上げ色について、定めのない場合は監督職員と協議すること。

第2章 施 工

2-1. 既設塗膜の除去について

既存塗膜及び改修に伴う塗膜付着に支障をきたすコンクリート表面のレイトンス・脆弱層・突起物・その他異物等については、高圧水洗浄（100～150MPa）および目荒らし等により処理を行い、堅牢なコンクリート表面を露出するものとする。

2-2. 下地調整について

コンクリート表面に生じた凸凹等は、使用塗料との付着性に支障をきたさない適切な下地調整材を用いて処理し、平滑な塗装下地に仕上げるものとする。

2-3. 頂版塗膜防水工法について

頂版塗膜防水は一般室内外用歩行用ノンスリップ仕上げ仕様とすること。プライマーを塗布したのち、防水層1層、保護仕上げとしてのカラーコート（歩行用着着色保護材）2層の計4層とすること。

2-4. 水槽内防食塗装について

水槽内防食塗装はエポキシ樹脂塗料（JWWA K-143：2017 適合品）を使用すること。下地処理をすること。樹脂及び下地調整材の試験結果成績書の提出をすること。

2-5. 外壁塗膜防水工法について

外壁塗膜防水は水性外壁防水工法としトップコートはアクリル系仕様とする。必要に応じて下地はポリマーセメント系下地調整材を使用したのち、プライマーを塗布し、防水層 2 層、水性反応硬化型アクリル樹脂のトップコートを 2 層の計 5 層とすること。

2-6. 施工方法について

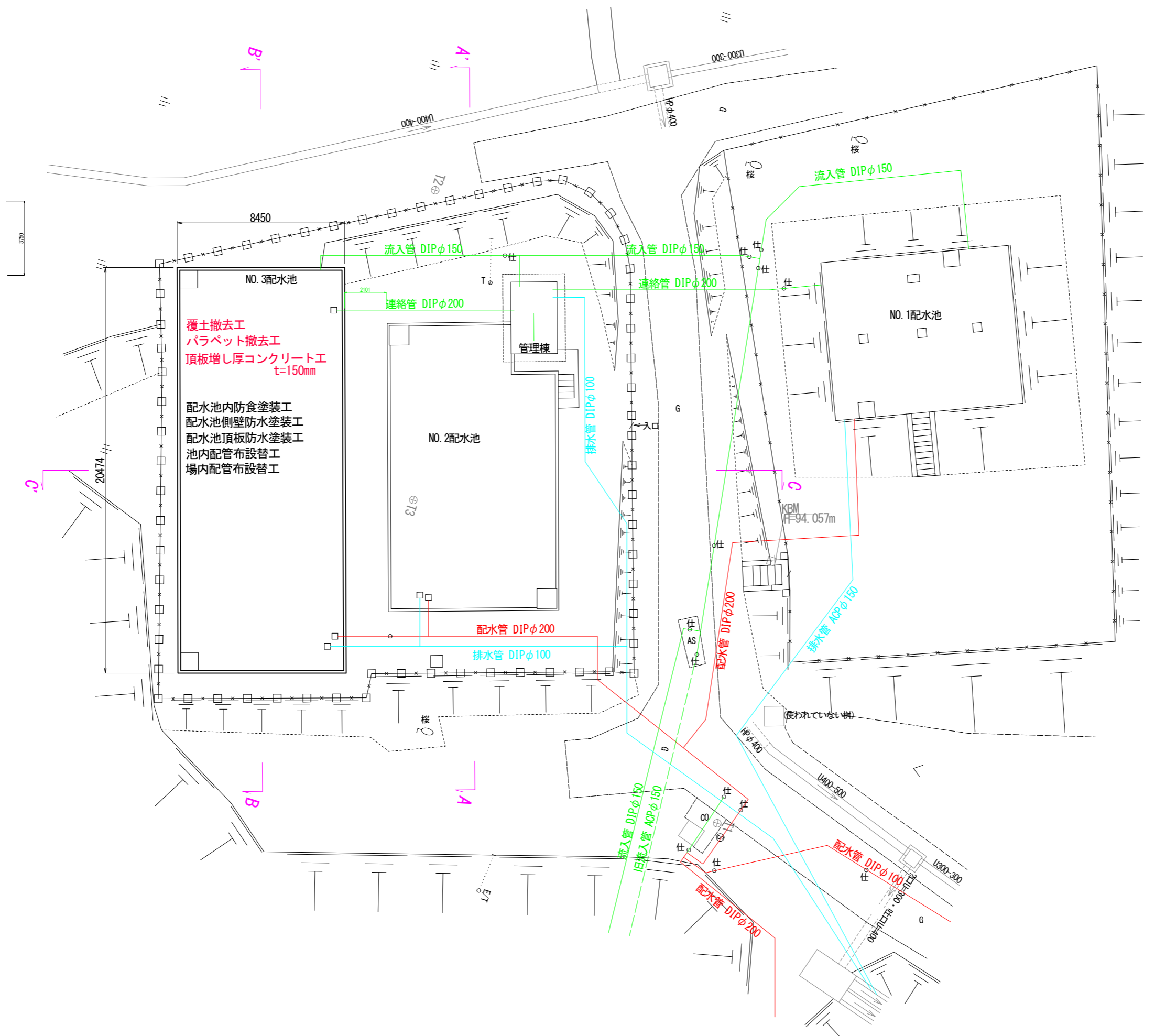
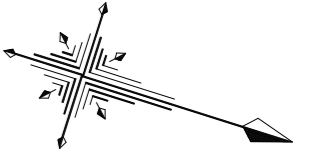
施工方法は各防水工法の施工要領に準ずること。

位置図 S=1:5,000



令和 5 年度	図番	1 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市板井川 地内	
図名	位置図	
縮尺	1:5,000	鶴岡市上下水道部

平面図 S=1:100



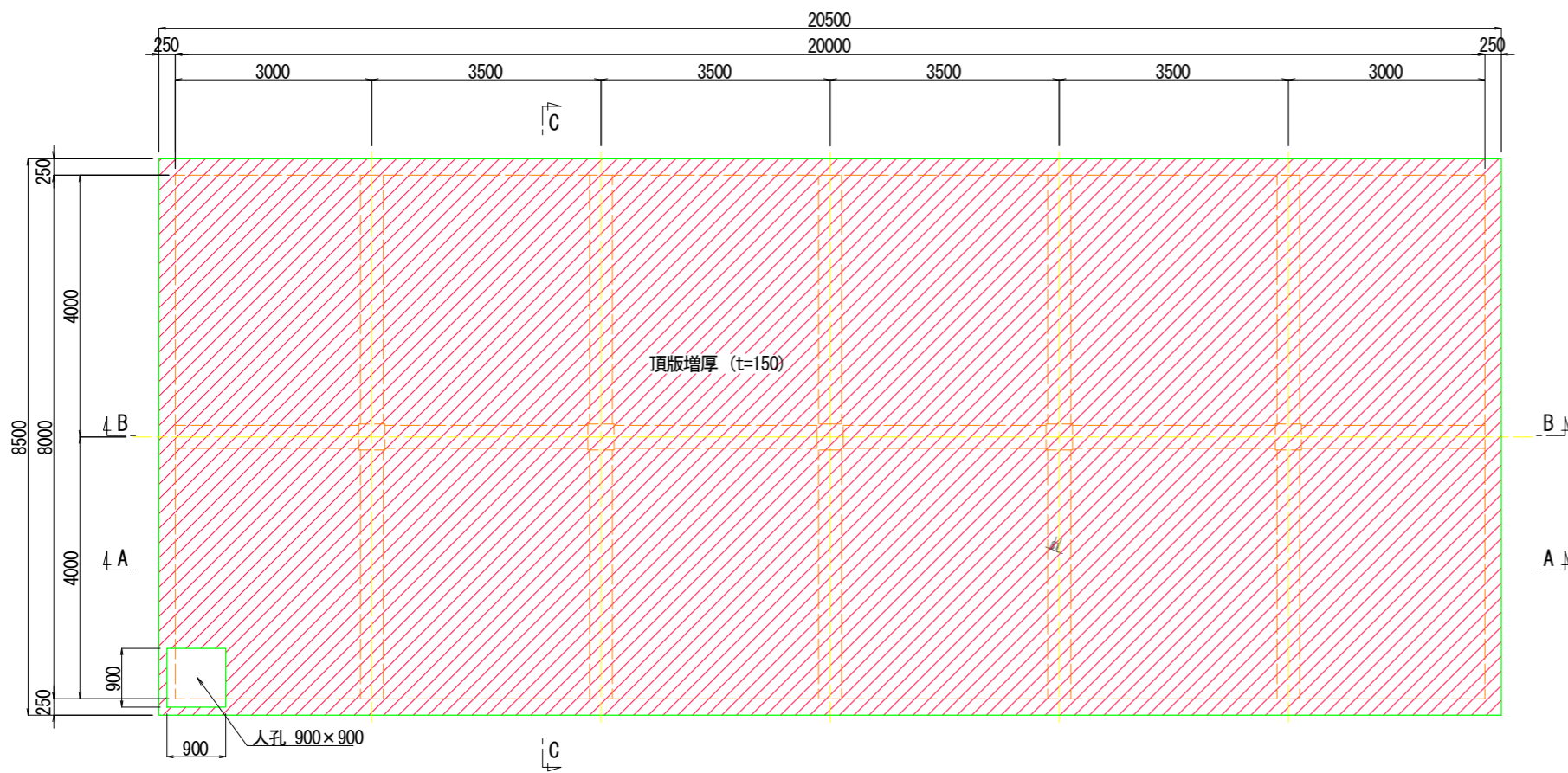
NO.3配水池
 覆土撤去工
 パラペット撤去工
 頂板増し厚コンクリート工
 t=150mm
 配水池内防食塗装工
 配水池側壁防水塗装工
 配水池頂板防水塗装工
 池内配管布設替工
 場内配管布設替工

凡 例	
—	流入管
—	配水管
—	排水管

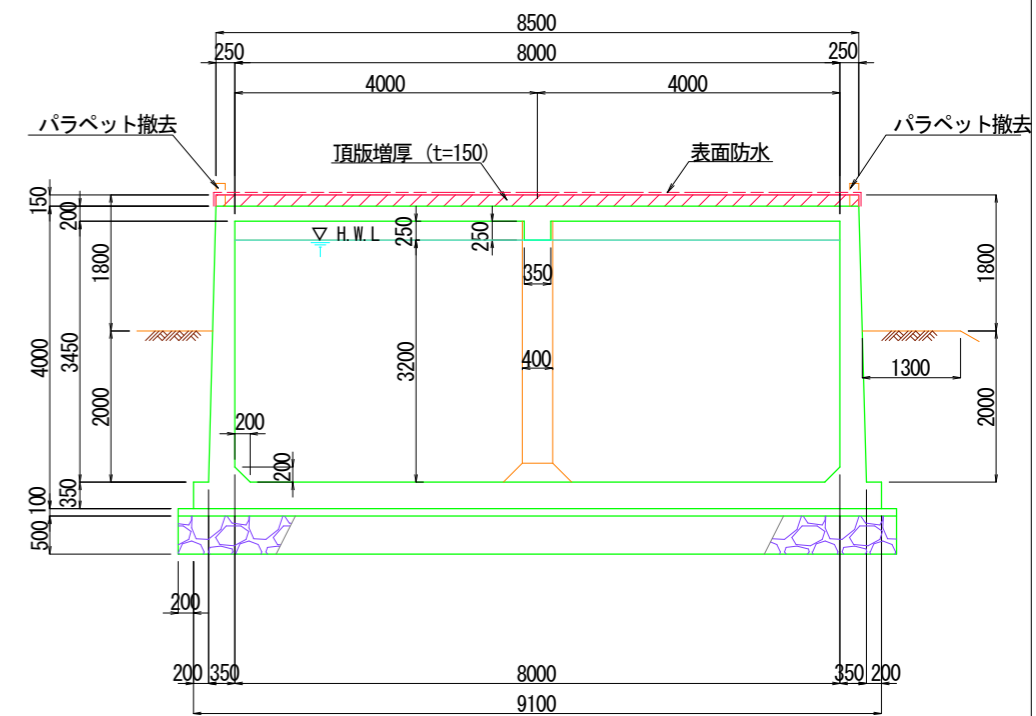
令和 6 年度	図番	2 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位 置	鶴岡市板井川字村西 地内	
図 名	平面図	
縮 尺	1:100	鶴岡市上下水道部

配水池補強工図 S=1:50

頂版平面図

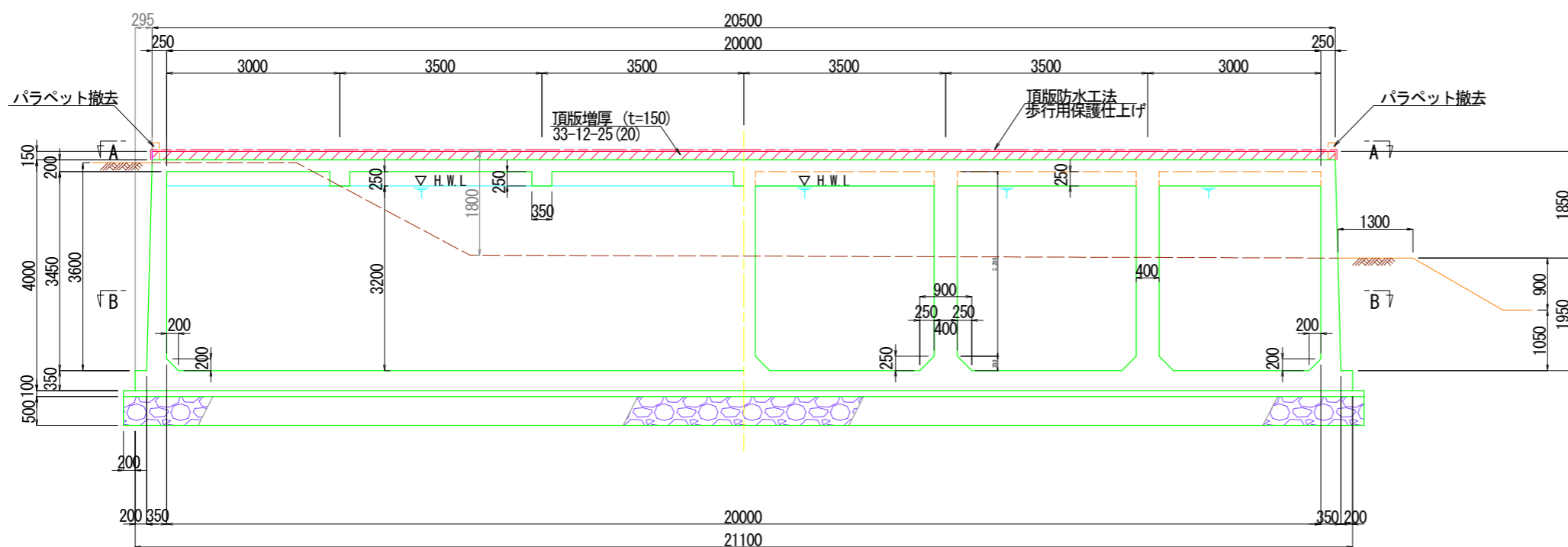


C - C 断面図



A - A 断面図

B - B 断面図

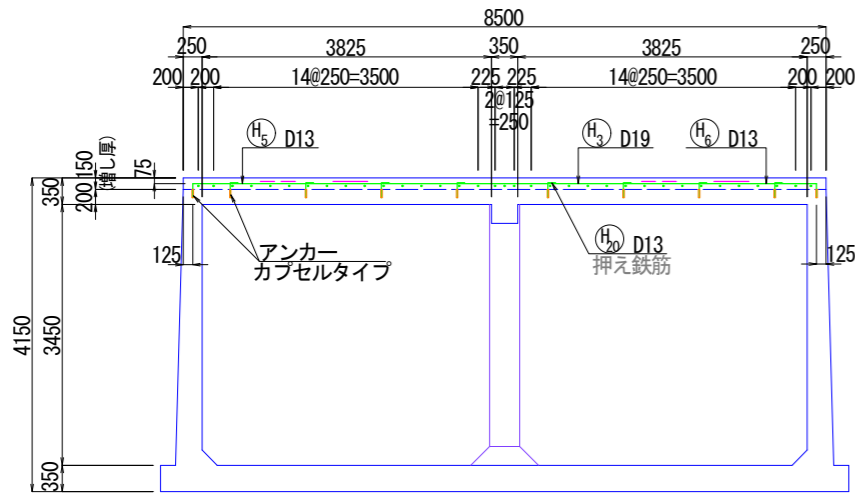


注1) コンクリートの設計基準強度
f'ck = 33.1 N/mm²

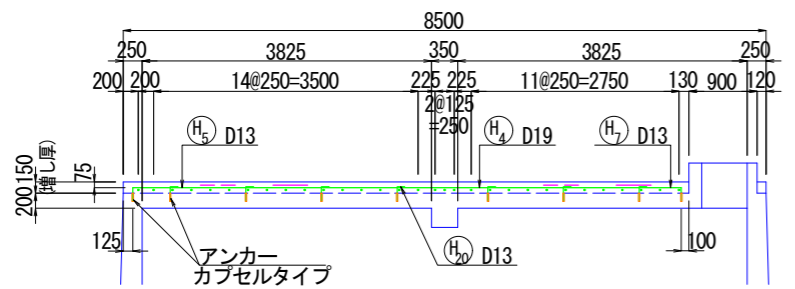
令和 5 年度	図番	3 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市板井川 地内	
図名	配水池補強工図	
縮尺	1:50	鶴岡市上下水道部

配水池補強配筋図 S=1:50

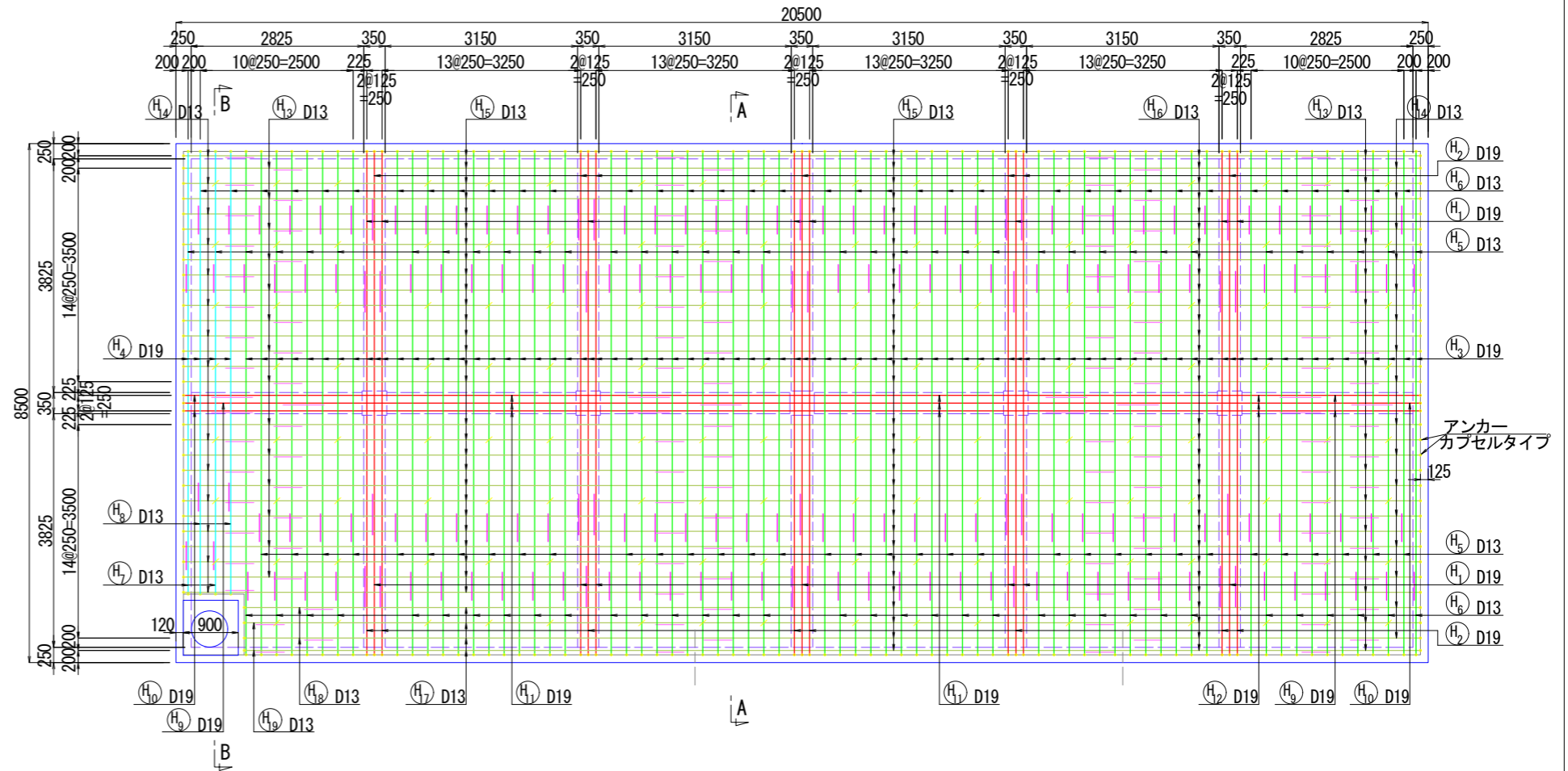
A - A 断面図



B - B 断面図



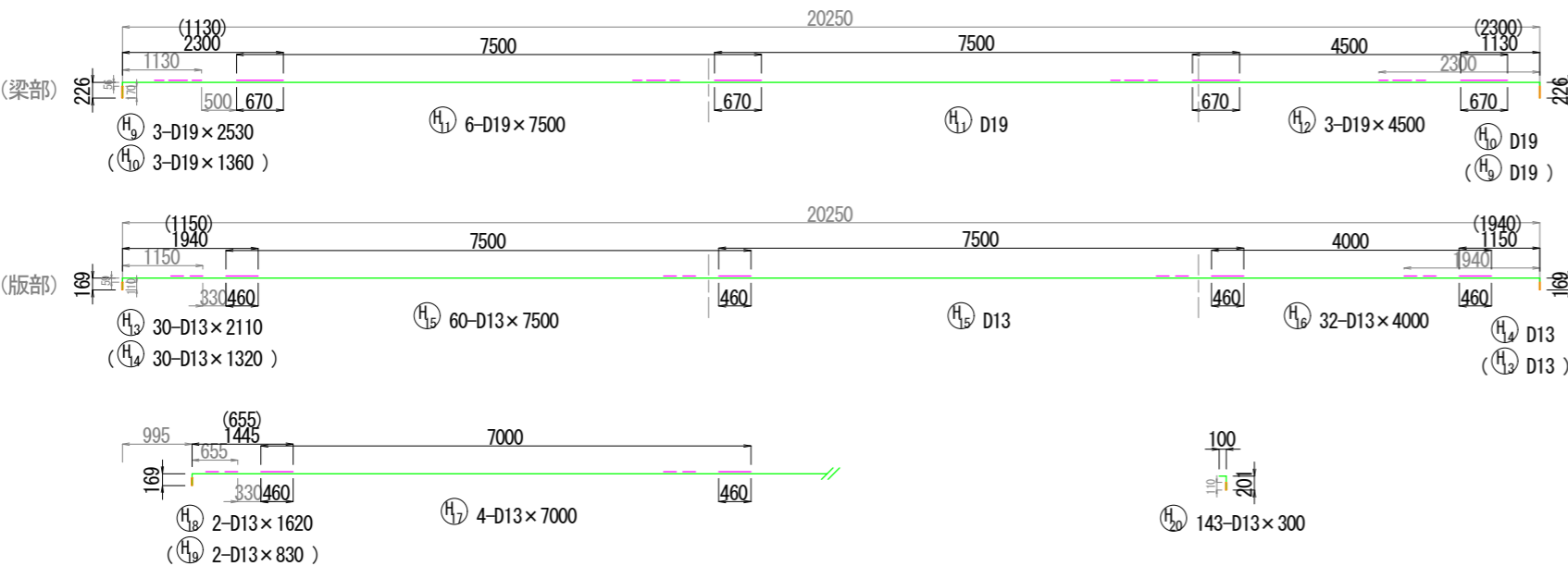
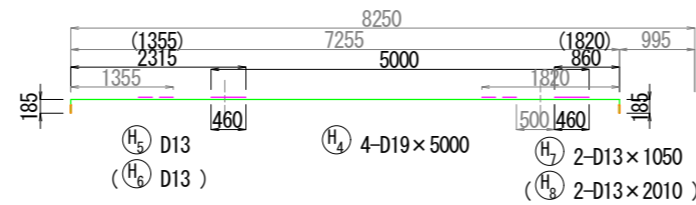
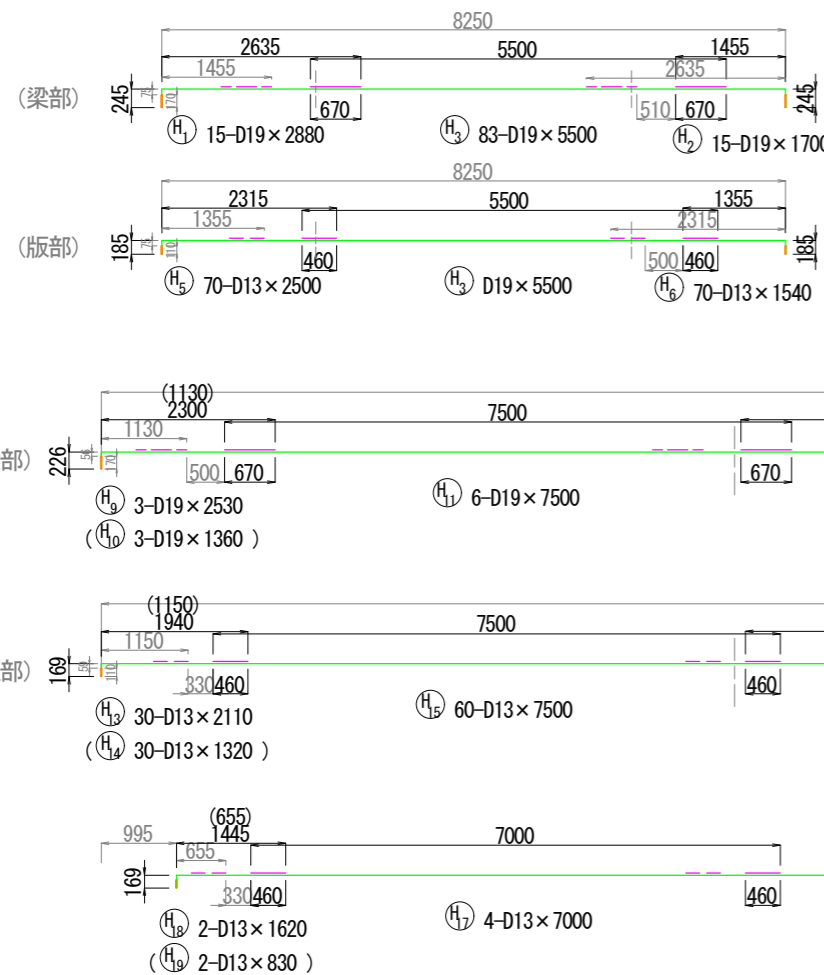
頂版補強展開図



鉄筋重量表

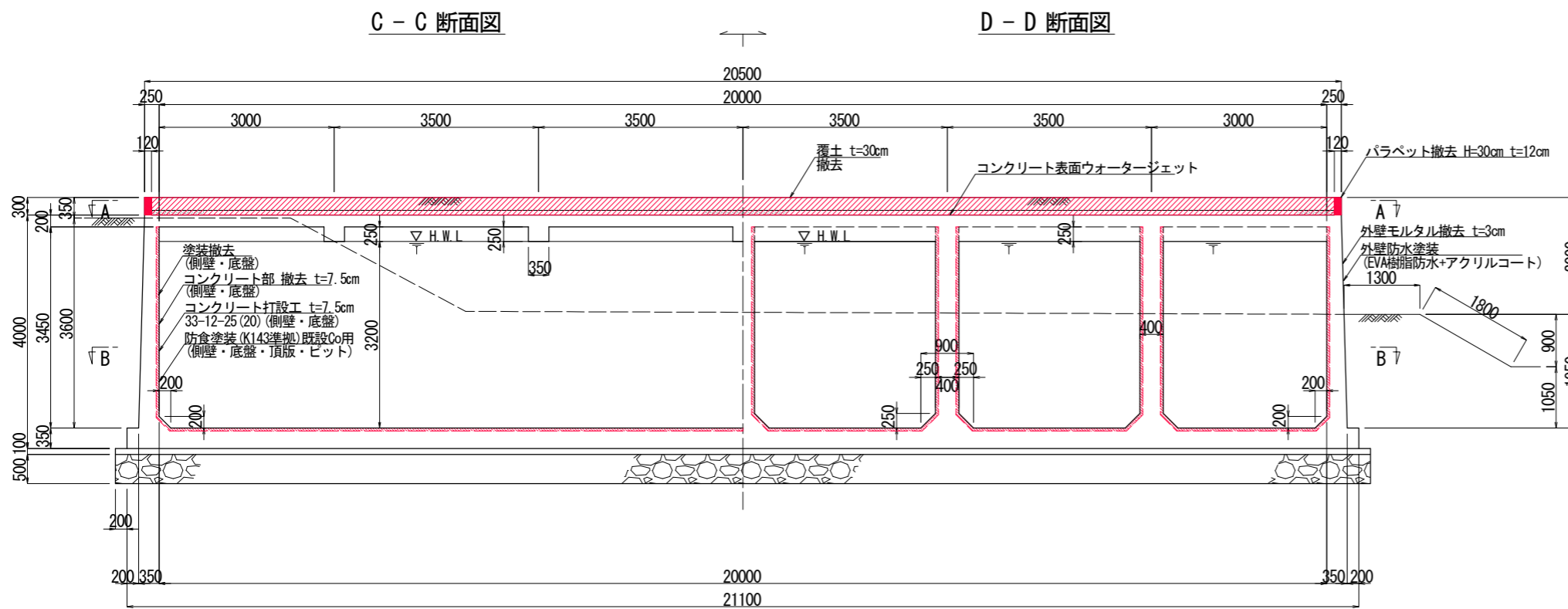
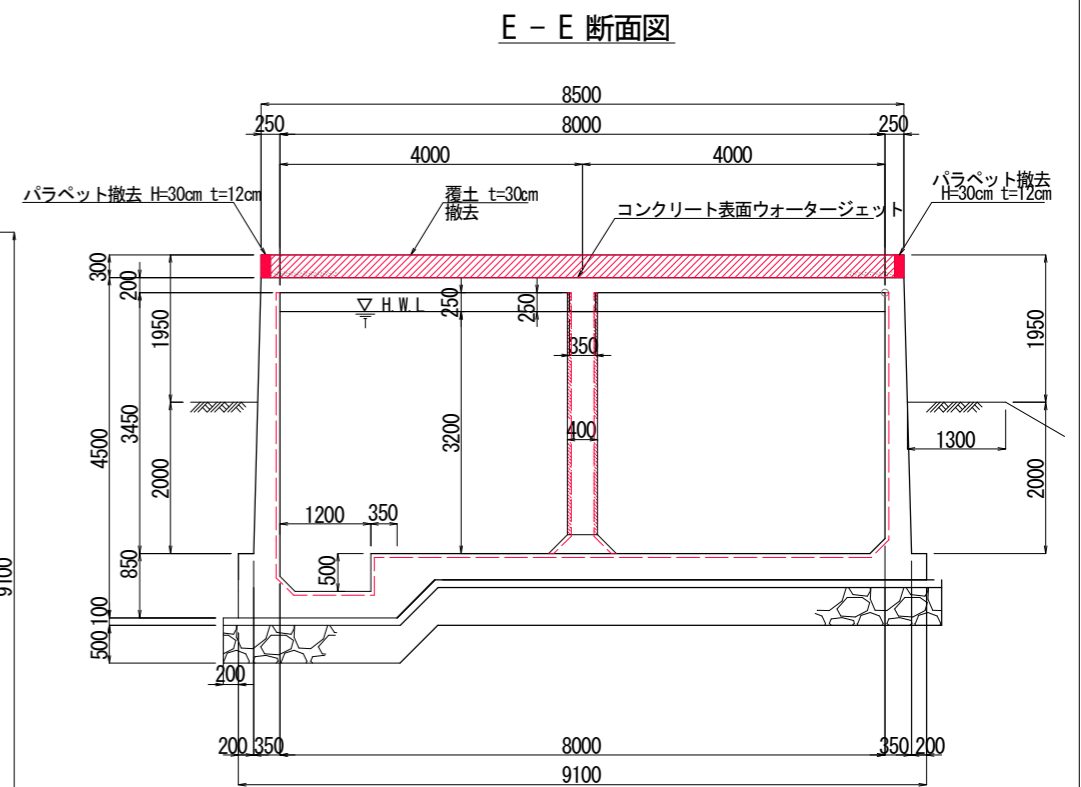
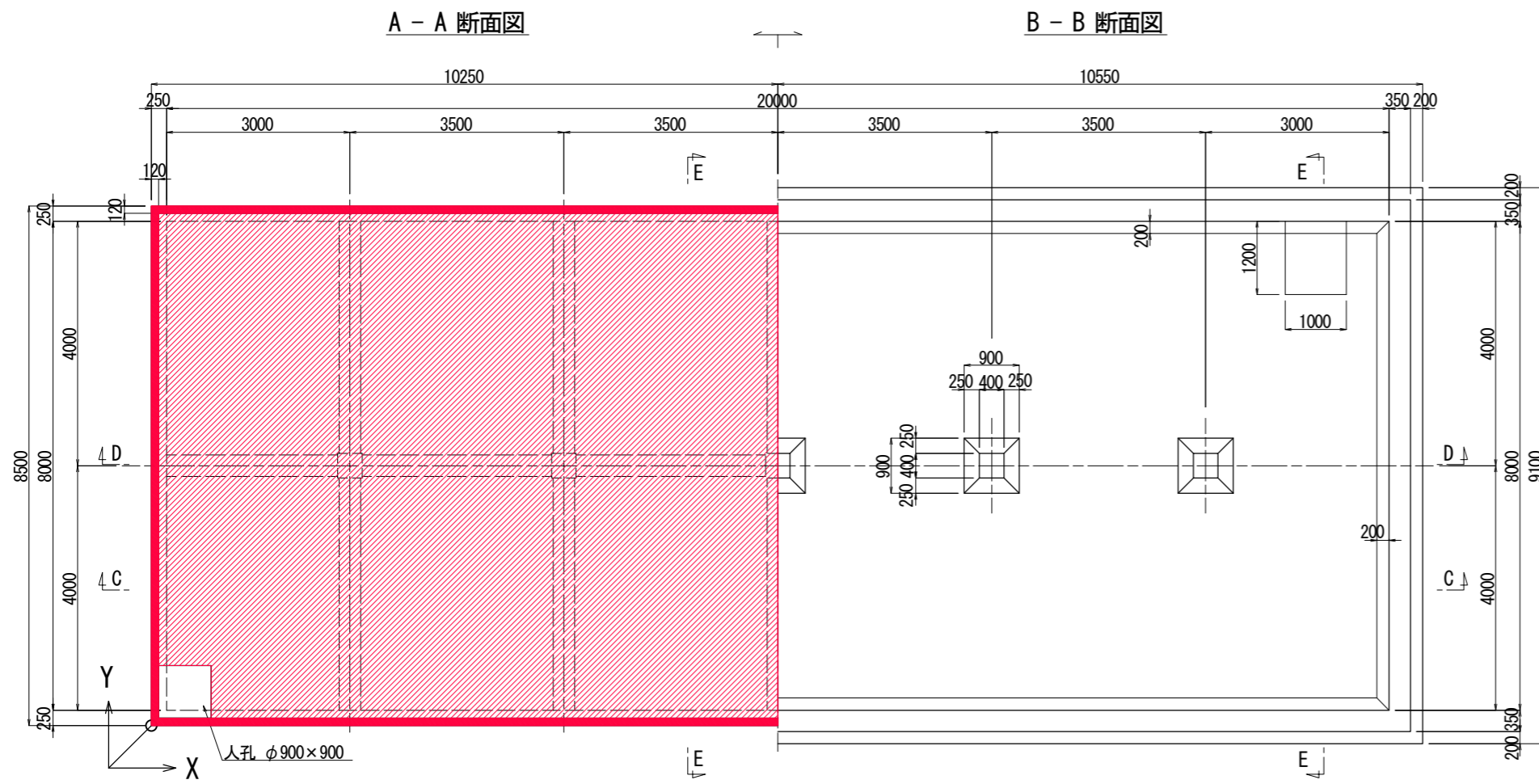
符号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
H 1	D19	2880	15	2.250	6.480	97.2	
H 2	D19	1700	15	2.250	3.825	57.4	
H 3	D19	5500	83	2.250	12.375	1027.1	
H 4	D19	5000	4	2.250	11.250	45.0	
H 5	D13	2500	70	0.995	2.488	174.2	
H 6	D13	1540	70	0.995	1.532	107.2	
H 7	D13	1050	2	0.995	1.045	2.1	
H 8	D13	2010	2	0.995	2.000	4.0	
H 9	D19	2530	3	2.250	5.693	17.1	
H 10	D19	1360	3	2.250	3.060	9.2	
H 11	D19	7500	6	2.250	16.875	101.3	
H 12	D19	4500	3	2.250	10.125	30.4	
H 13	D13	2110	30	0.995	2.099	63.0	
H 14	D13	1320	30	0.995	1.313	39.4	
H 15	D13	7500	60	0.995	7.463	447.8	
H 16	D13	4000	32	0.995	3.980	127.4	
H 17	D13	7000	4	0.995	6.965	27.9	
H 18	D13	1620	2	0.995	1.612	3.2	
H 19	D13	830	2	0.995	0.826	1.7	
H 20	D13	300	143	0.995	0.299	42.8	

- 注1) コンクリートの設計基準強度
f'ck = 33.1 N/mm²
- 注2) 鉄筋規格 SD 345
- 注3) アンカー穿孔仕様例を下記に示す。
カプセルタイプ
D19 → 穿孔径 φ23, 穿孔長 170mm
D13 → 穿孔径 φ16, 穿孔長 110mm
- 注4) 鉄筋先端は 寸切り 又は 両面カットとする。



D19	1384.7 kg
D13	1040.7 kg
鉄筋総重量	2425.4 kg

令和 5 年度	図番	4 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市板井川 地内	
図名	配水池補強工図	
縮尺	1:50	鶴岡市上下水道部



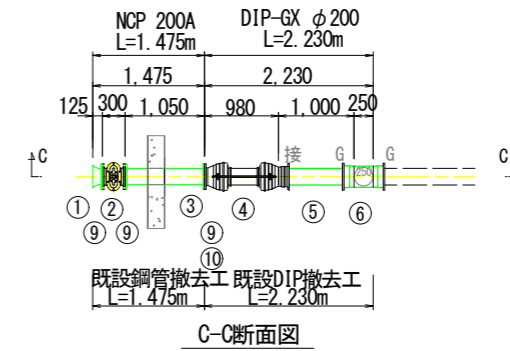
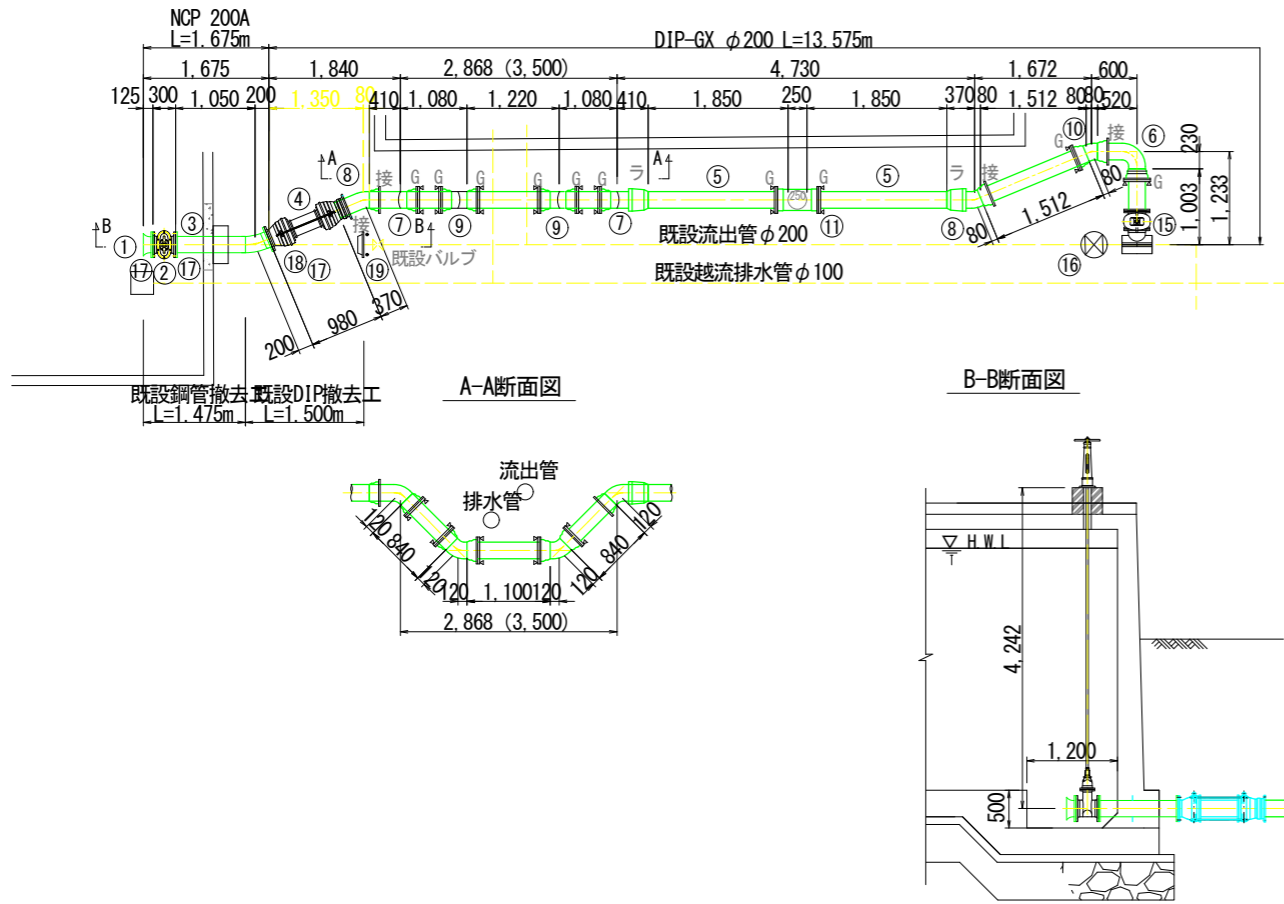
注1) コンクリートの設計基準強度
f'ck = 33.1 N/mm²

令和 5 年度	図番	5 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市板井川 地内	
図名	既設配水池改修図	
縮尺	1:50	鶴岡市上下水道部

池内・場内配管詳細図(1) S=1:50

流出管
平面図

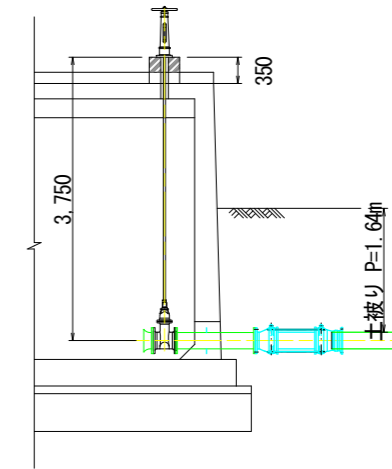
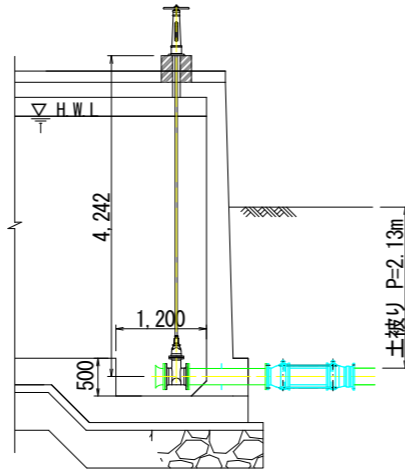
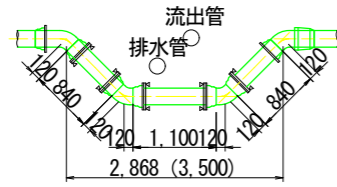
連絡管
平面図



A-A断面図

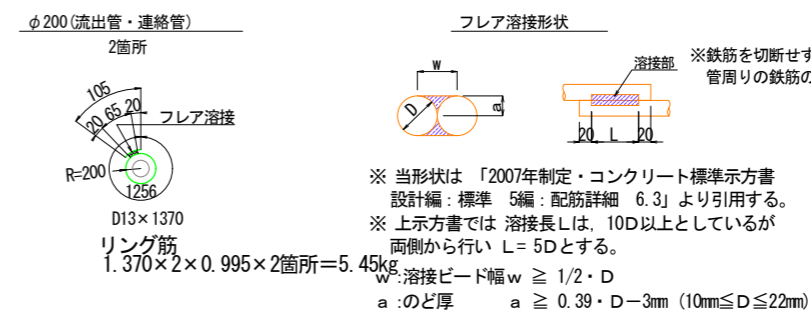
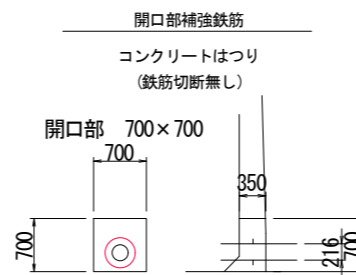
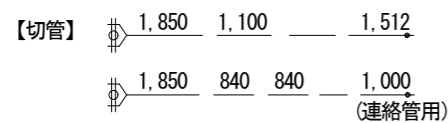
B-B断面図

C-C断面図

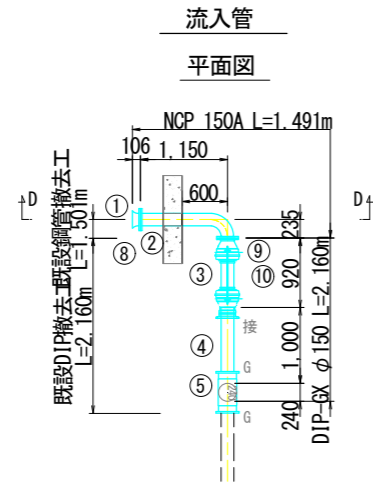


符号	名称	規格・形状寸法	単位	数量	備考
【流出管】 NCP 200A L=1.675m、DIP-GX φ200 L=13.575m					
①	NCPラップ付1F管	200A×125L JWVA 7.5k RF	個	1	
②	ソフトシール仕切弁	φ200×7.5k(内ねじ ハンドル付) バルブPCL~開閉器下面4240mm	基	1	中間ロッド: SUS304製 振り止め SUS L=500
③	NCPスティフナー付き2F曲管	200A×1050L×200L×22.5° JWVA 7.5k RF	本	1	
④	DIP-GX 伸縮可とう管	φ200 F×U タイロッド付きY=200(3DkN以上)	基	1	
⑤	DIP-GX 直管	φ200×5.0 S種	本	2	
⑥	DIP-GX 曲管	φ200×90°	個	1	
⑦	DIP-GX 曲管	φ200×45°	個	2	
⑧	DIP-GX 曲管	φ200×22 1/2°	個	2	
⑨	DIP-GX 両変曲管	φ200×45°	個	2	
⑩	DIP-GX 両変曲管	φ200×22 1/2°	個	1	
⑪	DIP-GX 継輪	φ200	個	1	
⑫	DIP-GX 接合部品	φ200	個	4	
⑬	DIP-GX ライナ	φ200	個	2	
⑭	DIP-GX Gリンク	φ200	個	10	
⑮	不排水分岐用耐震型T字管	φ200×φ200 ソフトシール仕切弁付メカ挿し口付	基	1	
⑯	不排水ソフトシール弁	φ200 耐震型 既設管DIP用	基	1	
⑰	フランジ接合材	φ200 JWVA 7.5k RF 絶縁	組	3	
⑱	フランジブロック	φ200 (3DkN)	組	1	
⑲	DIP-K 管帽	φ200	個	1	既設管

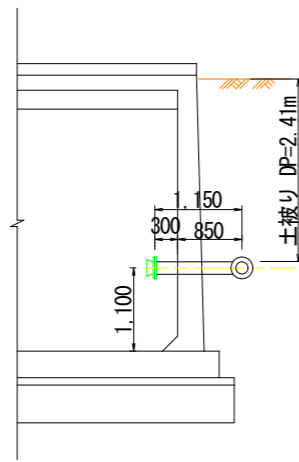
符号	名称	規格・形状寸法	単位	数量	備考
【連絡管】 NCP 200A L=1.475m、DIP-GX φ200 L=2.230m					
①	NCPラップ付1F管	200A×125L JWVA 7.5k RF	個	1	
②	ソフトシール仕切弁	φ200×7.5k(内ねじ ハンドル付) バルブPCL~開閉器下面3750mm	基	1	中間ロッド: SUS304製 振り止め SUS L=500
③	NCPスティフナー付き2F曲管	200A×1050L JWVA 7.5k RF	本	1	
④	DIP-GX 伸縮可とう管	φ200 F×U タイロッド付きY=200(3DkN以上)	基	1	
⑤	DIP-GX 直管	φ200×5.0 S種	本	-	流出管流用
⑥	DIP-GX 継輪	φ200	個	1	
⑦	DIP-GX 接合部品	φ200	個	1	
⑧	DIP-GX Gリンク	φ200	個	2	
⑨	フランジ接合材	φ200 JWVA 7.5k RF 絶縁	組	3	
⑩	フランジブロック	φ200 (3DkN)	組	1	



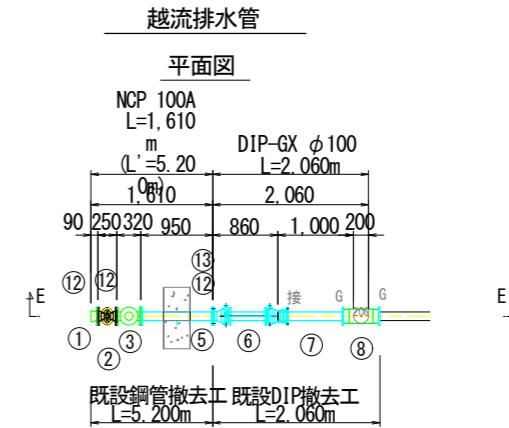
令和 5 年度		図番	6 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事		
位置	鶴岡市板井川 池内		
図名	池内・場内配管詳細図(1)		
縮尺	1:50	鶴岡市上下水道部	



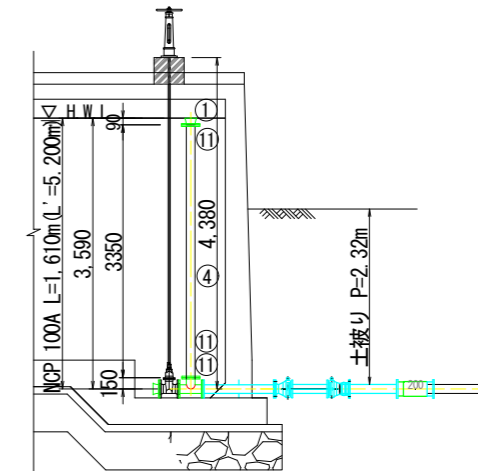
E-E断面図



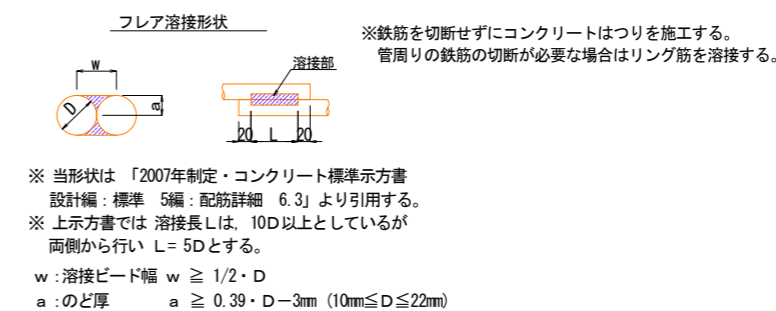
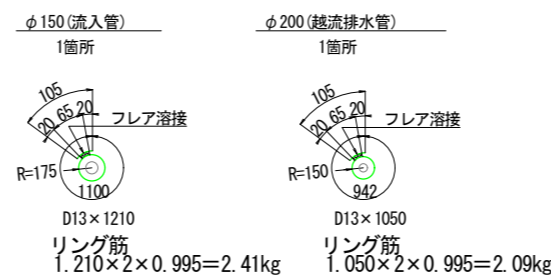
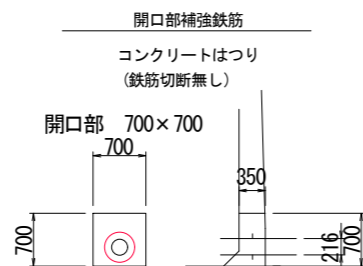
符号	名称	規格・形状寸法	単位	数量	備考
【流入管】NCP 150A L=1.491m、DIP-GX φ150 L=2.160m					
①	NCPラッパ付1F管	150A×106L JWWA 7.5k RF	個	1	
②	NCPスティフナー付き2F曲管	150A×1150L×235L×90° JWWA 7.5k RF	本	1	
③	DIP-GX 伸縮可とう管	φ150 F×U タイロッド付きY=200(3DkN以上)	基	1	
④	DIP-GX 直管	φ150×5.0 S種	本	1	
⑤	DIP-GX 継輪	φ150	個	1	
⑥	DIP-GX 接合部品	φ150	個	1	
⑦	DIP-GX Gリンク	φ150	個	2	
⑧	フランジ接合材	φ150 JWWA 7.5k RF SUS304	組	1	
⑨	フランジ接合材	φ150 JWWA 7.5k RF SUS304 絶縁	組	1	
⑩	フランジブロック	φ150	組	1	



E-E断面図



符号	名称	規格・形状寸法	単位	数量	備考
【越流排水管】NCP 100A L=1.610m (L'=5.200m)、DIP-GX φ100 L=2.060m					
①	NCPラッパ付1F管	100A×90L JWWA 7.5k RF	個	2	
②	ソフトシール仕切弁	φ100×7.5k(内ねじ ハンドル付) バルブPCL~閉閉器下面4380mm	基	1	中間ロッド: SUS304製 振り止め SUS L=150
③	NCP3FT字管	100A×100A 320L×150L JWWA 7.5k RF	本	1	
④	NCP2F直管	100A×3350L JWWA 7.5k RF	本	1	
⑤	NCPスティフナー付き2F曲管	100A×950L JWWA 7.5k RF	本	1	
⑥	DIP-GX 伸縮可とう管	φ100 F×U タイロッド付きY=200(3DkN以上)	基	1	
⑦	DIP-GX 直管	φ100×4.0 S種	本	1	
⑧	DIP-GX 継輪	φ100	個	1	
⑨	DIP-GX 接合部品	φ100	個	1	
⑩	DIP-GX Gリンク	φ100	個	2	
⑪	フランジ接合材	φ100 JWWA 7.5k RF	組	3	
⑫	フランジ接合材	φ100 JWWA 7.5k RF 絶縁	組	3	
⑬	フランジブロック	φ100	組	2	

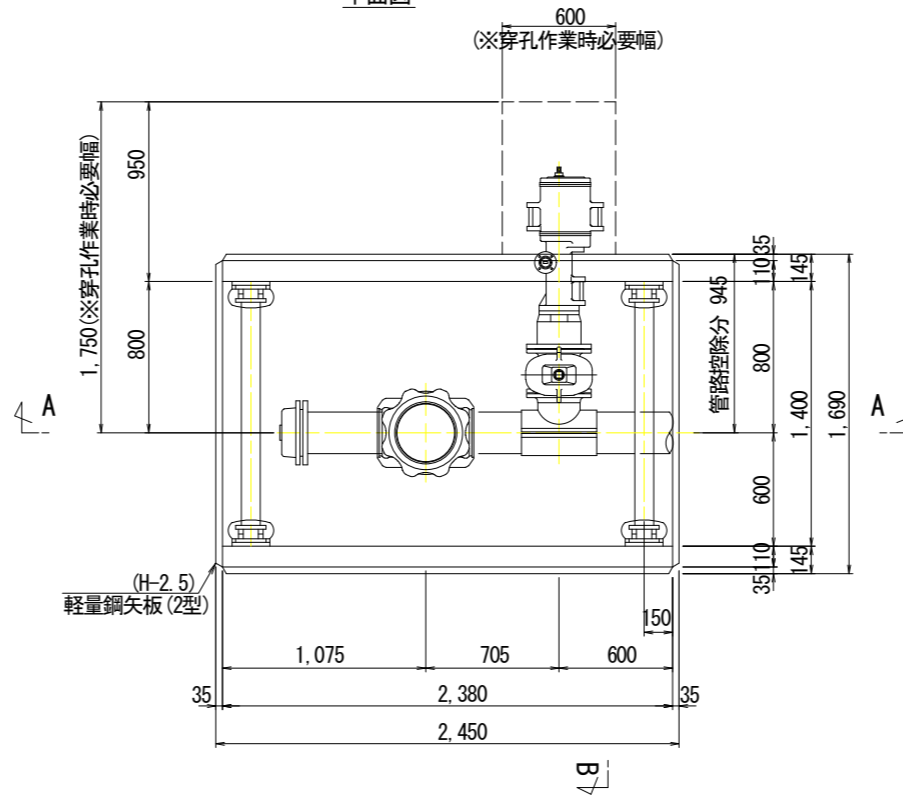


令和 5 年度	図番	7 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市板井川 池内	
図名	池内・場内配管詳細図(1)	
縮尺	1:50	鶴岡市上下水道部

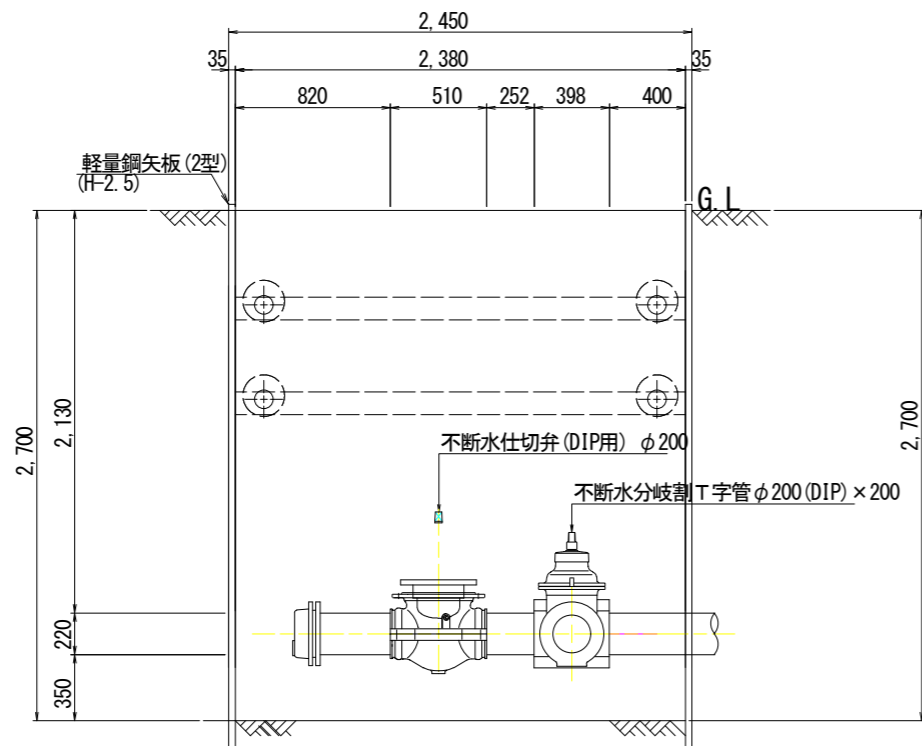
不断水工事掘削土留図 S=1:20
(φ200路線)

不断水分岐
DIPφ200×200 (No. 12+41.82)

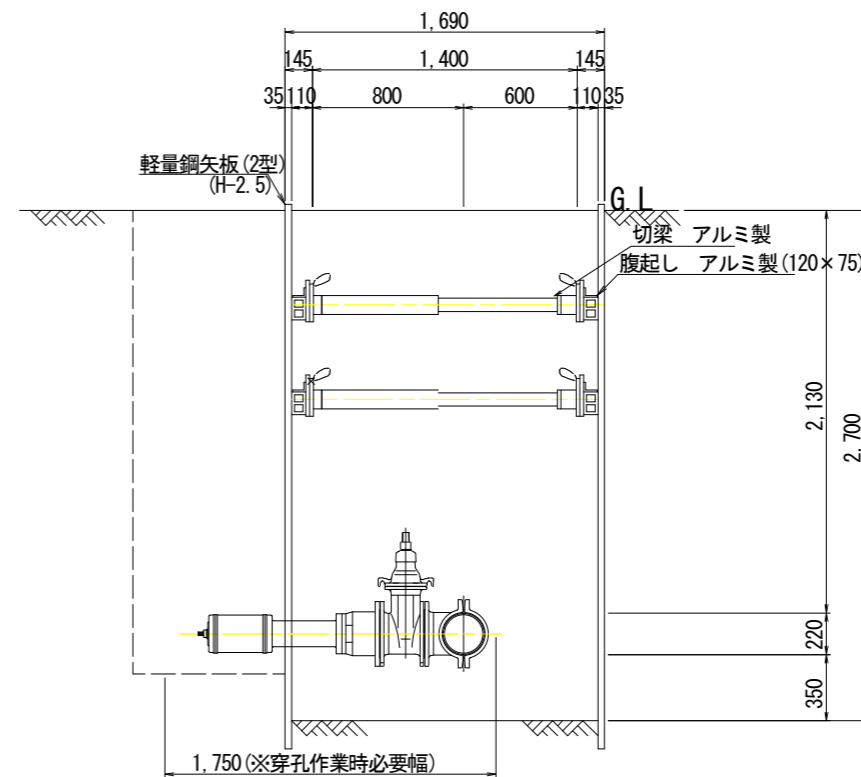
平面図



A-A 断面図
(市道車道)



B-B 断面図



令和 5 年度	図番	8 葉 9
工事名	山添配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市板井川 地内	
図名	不断水工事掘削土留図	
縮尺	図示	鶴岡市上下水道部

